

現 状		課 題	基本 方針	再整備方針（素案）
人口の状況	<ul style="list-style-type: none"> 草津市の人口は増加傾向で推移しているが、令和 12 年をピークに減少に転じると推計されている 高齢化が進行している 健康寿命と平均寿命の差が小さい 	<p>①「地域のレジャープール」としての役割の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査での高い満足度（利用者の7割以上）を踏まえ、昭和 63 年の開設以降、広く市民等に利用されてきたファミリー向けレジャープールとしての役割を維持 近隣プールとの棲み分けや、流水プールやスライダープールへの満足が高い市民ニーズを踏まえたプール機能のアップデート 特に市民・利用者アンケートとも 6 割程度の需要がある子ども向けレジャー機能の強化 <p>②効果的・効率的な老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートで 6 割程度、利用者アンケートで 4 割程度の方が不満と感じている利用者の安全・安心の確保に資する大規模改修・更新等を含めた施設の老朽化対策 市民アンケートで 6 割程度、利用者アンケートで 4 割程度の方が不満と感じている衛生面や快適性を向上させる内装・設備等の更新 <p>③新たな魅力の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査結果を踏まえた新たなプール機能の検討（7～8 割程度の方が望むレジャー機能の強化） オフシーズンのプール利用を含めた新たな活用方法の検討 魅力的なイベント・プログラムの実施などソフト面の取組の充実 <p>④利用者満足度の更なる向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民・利用者アンケートの自由意見でも要望のあるトイレや更衣室等における衛生面や利便性の向上 プール付帯施設のバリアフリー対応 市民・利用者アンケートの中で要望の多い休憩スペース・売店等の充実 アンケート結果を踏まえた駐車場の充実（渋滞対策） <p>⑤持続可能なプール施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の財政状況等を踏まえた持続的なプール施設の管理運営に資する適正な受益者負担の設定 管理運営の効率化を含めた事業計画の検討 <p>⑥ロクハ公園全体との調和</p> <ul style="list-style-type: none"> ロクハ公園が持つ特色や自然と調和するプール施設のデザイン検討 ロクハ公園のレクリエーション機能との連携を踏まえたプール機能の検討 	<p>地域に愛されるレジャープールとしての機能維持と魅力向上</p>	<p>基本的な考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> ロクハ公園プールは利用者アンケートで満足度が高い（7 割以上）ことから、基本として現在の機能・施設を維持していくことが重要と考えられる。また、別途整備を進めている（仮称）草津市立プールとの機能の棲み分けも必要となる。（課題①へ対応） 市民アンケート、利用者アンケートともに不満が多かった、施設の高さ、汚さを改善していくことが、必須の条件である。（課題②④へ対応） 満足度が高い理由として、流水プールやスライダープールがあることに加え、不満点としてプールの種類に魅力がないことが挙げられていること、室内の 25m のレジャー色の強い施設への変更に対する賛成意見が多かったこと（いずれのアンケートも 7 割～8 割程度）ことから、流水プール・スライダープールの機能は活かしながら、25m プールの用途転換を図っていく。（課題③④へ対応） アンケート調査では、リニューアルにあたり望まれる施設として、小さな子供が水と触れ合える施設や、売店・飲食店、休憩スペースなどの要望が高いことから、これらの導入を目指していく。（課題③④へ対応） 今後も継続的に運営が可能となる方策を導入する（財政負担の軽減）。（課題⑤へ対応） プールだけではなく、周辺の自然との調和や機能との連携を考慮した芝生広場を整備する。（課題⑥へ対応）
立地・交通の特性	<ul style="list-style-type: none"> みどりの「地区拠点」に位置付けられるロクハ公園内に立地している 利用者アンケートでは 9 割程度が車で来訪している 徒歩 3 分圏内にバス停が位置している 			
利用者層	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代（主に 30 代・40 代）の他、10 代の利用が多い 利用者アンケートでは県内が 9 割以上（市内は 3 割以上）を占める 両アンケートとも家族連れの利用が 8 割以上と多く子どものレジャー目的の利用が多いと推察される 			
プール利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で利用者数が落ち込んだものの、令和 4 年度には年間 5 万人程度まで回復している 			
プール施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> 建設後、35 年以上を経過し、老朽化が著しい状況である 特に劣化の激しい 25m プールは令和 5 年度から利用休止している 利用者アンケートでは、プール施設の満足度は高い（7 割以上） 			
プール付帯施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> プール施設と同様に老朽化が進行し、アンケートでも老朽化、汚いことへの不満が多い（6～7 割程度） バリアフリー化やトイレの洋式化が進んでおらず、利用者アンケートの自由意見でも改善の要望が挙げられている 管理棟及びプール横の機械室や倉庫等は処分制限期間を経過しておらず、構造躯体の取り壊しは不可となっている 			
関連施設の現況	<ul style="list-style-type: none"> 競泳用屋内プールとして、（仮称）草津市立プールの整備が進行している 市内には、レジャープール（矢橋帰帆島公園屋外プール）や複数の民間フィットネスプールが存在している 			
市民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 両アンケートの結果から、レジャープールへのニーズが 7～8 割程度と多い プール施設や遊具、休憩スペース等の充実を求める意見が特に多い 			
			<p>整備方針（案 2）</p> <p>整備方針：現機能の更新・機能強化＋屋内プールの休憩スペース転用（現機能の付加価値を高める施設の導入）</p> <ul style="list-style-type: none"> プール機能について、現在人気のある機能を中心に施設を絞り込んでいくとともに、プール機能の付加価値をより高めるための利便施設などを導入する。 <p>《整備内容》 （両案とも共通して整備する部分）</p> <p>案-1 を参照</p> <p>（独自部分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内プールの他用途への変更（基本的な考え方①④⑤に対応） <ul style="list-style-type: none"> 屋内プール屋根の撤去による屋外（流水プールや芝生広場）との一体感の向上（利便施設用の新たな屋根は設置） ビーチカフェやレストランなど飲食機能の強化 	